"地震はとめられないが、被害は軽減できる"
緊急地震速報専用受信機「ディーパス」
㈱ドリームウェア

北村取締役

到達震度、猶予時間を瞬時に演算
独自の特徴で導入実績伸ばす

最近、大規模地震が国内外で起きているが、国や地方公共団体等でその対策が進んでいる。東京都の平成二十二年度私立学校関係予算では、「私立学校緊急地震速報整備費補助」として、二億五千万円が措置された。これは気象庁が配信する緊急地震速報の受信・活用に要する整備費用に対する補助だ。地震が発生した場合、地震が到達するまでの限られた時間を有効に活用し、身の安全を図ることが重要だ。「地震はとめられないが、被害は軽減できる」――。この信念のもとに開発されたのが、株式会社ドリームウェア（本社：東京都新宿区6―12―1、ホームページ http://www.dpass.jp/）の緊急地震速報専用受信機「ディーパス」（DPASS）だ。同社の北村哲治取締役・IT事業部長にお話を伺った。

「ディーパス」の導入実績は着実に伸びている。北村取締役は「利用者様は『ディーパス』独自の特徴と、豊富な導入実績を信頼して採用を決定してくださっています」と語る。現在導入している施設は、全国の小・中学校、県庁、市役所、保育園、幼稚園をはじめ、空港、自動車メーカー、製薬会社、石油会社、ガス会社、警備会社等、約数千カ所を超える。

「ディーパス」は、常時接続型のインターネットの環境が整ってさえいればどこでも導入できることが最大の特徴だ。端末到着後新規申込書に必要事項を記入し、指定先にFAXすれば申し込み受付は完了。後は受信機の設置場所の緯度・経度情報がネット経由で自動的に設定され、緊急地震速報（予報）をもとに任意の地点における震度や主要動到達までの猶予時間（ピンポイント情報）を予測する。受信機単体でのテスト報知機能や地震履歴確認、無線子機を複数増設することも可能となっている。更に、報知震度レベルの設定変更や放送設備との接続も可能なので、問題発生（※）高度利用者向け緊急地震速報（予報）発表の諸条件別売りの拡張ユニットをご一貫してフォローいただけるので、安心して相談できると認識できる。また配信導入を考えていただきたいと思います」と北村取締役は話している。

（※）高度利用者向け緊急地震速報（予報）とは、気象庁の多機能型地震計設置のいくつかの観測点において得られたデータ解析の結果、諸条件（※）を満たした時に気象庁から発表される。気象庁が地震動の予報業務を許可した事業者のものでなければならない。もちろんドリームウェア社も許可事業者の一社である。

「ディーパス」は内蔵された高性能マイクロコンピューターによって、予設置場所の到達震度、猶予時間（秒数）を瞬時に演算し、音声・警告音・緊急地震速報（予報）発表の諸条件上の地震を報知するという細かな設定にも対応できる。仕様外観はスタンド型状なので設置場所が増加している要因だと思います。日本は国を挙げて地震対策に取り組んでいるのですから、ぜひ

「ディーパス」（左が親機、右が子機）

全私学新聞

発行所
全私学新聞運営委員会
〒102-0073　東京都千代田区九段北4-1-26 第一稲穂ビル
電話 03(3265) 7551-3
FAX 03(3261) 7323
編集部FAX 03(3261) 7514
振替口座 00150-0-33477
発行人 西原 卓夫
購読料 1年 18,000円
©全私学新聞運営委員会 2010

私学の経営と教育に役立つ新聞です。
http://www.zenshigaku-np.jp

6月13日号の主な内容

中教審の審議動向……2面
私学経営研修会パネル討議……3面
私立短大の挑戦⑩……4面
静岡と神奈川県で総会……5面

迫る地震を事前にキャッチ、防災行動で被害阻止！
緊急地震速報
豊富な導入実績を誇る
DPASSシリーズ
全国の県庁・市役所・保育園・幼稚園・小中学校。法人では、空港・自動車メーカー・製薬会社・石油会社・ガス会社・警備会社・他数千箇所

放送設備との接続も可能

Dream Ware 株式会社ドリームウェア
東京都新宿区西新宿6-12-1 パークウェスト8F
☎(03)5909-2300
FAX:(03)5909-1777 HP:http://www.dpass.jp/
お問合せ先担当：営業部 後藤

緊急地震速報受信機［ディーパス］
DPASS
Disaster ProActive Support System
REIC
特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会 認定製品
（認定番号 07-011）